

市子連だより

平成28年11月(35号)

一緒にしよいわ!子ども会

倉敷子ども会との交流会

7月16日(土)～17日(日)玉野スポーツセンターにて、倉敷市水島地区子ども会と米子市子ども会の交流で1泊2日の夏の合宿をしました。

プログラムのメインはプール遊びとミッションとバルーンアートでしたが、ミッションにおいて、班の個性が出た活動になりました。倉敷市の子どもが31人、米子市の子どもが22人参加で、総勢53人の子どもが1班から8班まで約7人編成で活動するのを、米子のジュニアリーダーが3人、倉敷市のジュニアリーダーが4人、計7人でプールとミッションの活動班に分かれてサポートしました。活動が進むにつれて、子ども達の気づきを待ち、仲間と協力する大切さを学んだ交流活動になりました。

その成果は下記の子どもリーダーの感想に表れています。



○仲間づくりについて・・・素敵な交流ができましたか？

- ・最初は見ず知らずの人達だったけれども、2日間を通して、とっても仲の良い関係ができました。
- ・最初はだれといっしょになるかどきどきしたけど、一緒にいる間、いろいろお話ができて、活動班の人や、部屋班の人と交流ができて良かった。
- ・同じ班の人と仲良く協力して交流ができました。

○自分が頑張ろうと決めたこと(目標)に対してどうでしたか？

- ・たくさん友達を作り、みんなと楽しくやることの目標が達成できた。
- ・「知らない人ともなかよく！」が達成できました。
- ・2日間の目標は「最後なのでたくさん友達を作る」ことでした。たくさん友達ができて良かったです。
- ・友達をたくさん作るだけじゃなく、何人かしか友達をつくれなかったのが、冬に交流する時は、もっと友達をつくりたい!でも、冬には友達の顔を忘れないようにしたい!

○2日間で一番心に残った思い出はどんなことでしたか？

- ・たくさんの人とふれ合い、楽しんだことが一番心に残った思い出です。
- ・班のみんな、部屋のみみんなとプール、バルーンなどをやれたこと。
- ・プール。米子にはあんな大きなプールがなかったし、倉敷の友達と一緒に遊べたからです。

優良子ども会表彰

鳥取県内の子ども会で、特に活動が優れた子ども会については、毎年度表彰が行われています。4月17日に鳥取県子ども会育成連絡協議会で米子市内の子ども会では、平成27年度優良子ども会として、次の子ども会が表彰されました。

かもちくめこかい (就將地区 会員数16人)

ひょうしょうりゆう (表彰理由)

3月の歓送迎会で、平成27年度の活動内容を子ども達で話し合い、子ども達のアイデアが、身近な城山で遊ぶことに絞られた。春の城山清掃に参加し、夏の城山で自然観察・虫取りなど、どの行事も上の子が下の子の面倒を見て、異年齢で体験活動ができた。また、就將地区子ども会わんぱく子どもまつりや、校区民運動会で活躍し、地域の一員としての自覚を強くした。そして賀茂神社の夏祭り御神輿担ぎ、餅つきなど伝統行事の体験もできた。

餅を食べた後、反省会をして今年の活動を振り返り、3月の歓送迎会で来年の活動を話し合うというサイクルが子ども達の中にできて、今後も「子どもの手による子ども会」の実践が継続されると期待する。

しんかいにしこかい (福米西地区 会員数67人)

ひょうしょうりゆう (表彰理由)

3月の歓送迎会・子ども総会で6年生が中心となって話し合いを進めて、活動を決めている。7月のレクリエーションから、どの行事も6年生が班長となり、司会、進行して、低学年を上手くまとめた。夏の納涼会で福米音頭を覚え、校区民運動会、公民館祭など地域の人々との交流で絆も深まり、地域の一員として活動できた。異年齢で活動することで、思いやりや助け合いの気持ちが育まれている。

天体観測会では、星座や宇宙に興味を持ち、幅広い分野で活動している。

今後も「子どもの手による子ども会」の実践が継続されると期待する。

また、11月19日に島根県松江市で開催される第47回中国四国地区子ども会育成研究協議会で次の子ども会が表彰されます。

おんせんくこかい (福生西地区 会員数20人)

地域で世代間交流を積極的に図り、相互理解を深める取り組みをしている点。また、子ども達が主体となって、「子どもの手による子ども活動」を実践している点が評価されました。

米子市子ども大会中止しました。

今年度も開催を楽しみにしていた方もいらっしゃいましたが、10/21(金)の鳥取県中部を震源とした地震を受け、今後も余震等の可能性がある中、リスクを回避するため、10/23(日)に開催予定であった米子市子ども大会は中止しました。